



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)戸塚区矢部町 共同住宅 新築工事	階数	地上6F
建設地	神奈川県横浜市戸塚区矢部町771番の1の一部	構造	RC造
用途地域	第2種中高層住居専用地域、準防火地域	平均居住人員	160 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年3月 予定	評価の実施日	2021年7月6日
敷地面積	2,627 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社 明建築設計事務所
建築面積	942 m <sup>2</sup>	確認日	2021年7月6日
延床面積	3,749 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社 明建築設計事務所

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.9**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

①参照値 100%  
②建築物の取組み 98%  
③上記+②以外の 98%  
④上記+ 98%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.8**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.6

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.1

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 1.4

**LR のスコア = 3.1**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.4

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.9

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.9

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>	敷地の高低差に沿った建物の階数とし、落ち着いた色彩となるよう配慮しました。長め庇によるアプローチからガラスの箱のようなエントランスホールに入る上品な共同住宅をコンセプトとしました。	その他
<b>Q1 室内環境</b>	専有部分について、断熱等性能等級4とし、高い昼光率を確保している。また、F★★★★の建材をほぼ全面的に採用するなど、室内環境の向上に努めている。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 外構緑化指数36.3%とし、防犯カメラの設置をするなど、室外環境の向上に努めている。
<b>LR1 エネルギー</b>	断熱等性能等級4、建物全体BEI=0.96としている。	<b>LR3 敷地外環境</b> ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率98%とし、その他の項目についても標準的な配慮を行っている。
<b>Q2 サービス性能</b>	光ファイバー回線を各戸に提供可能とするなど、建物のサービス性能の向上に努めている。	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>	LGS下地やノンフロンの断熱材を採用することで、資源・マテリアル項目について配慮した設計としている。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



### 4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <集合住宅>

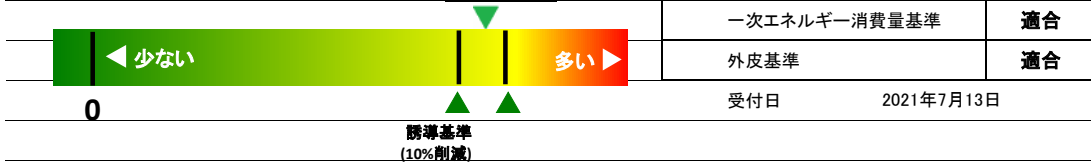
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。

建物名称 (仮称)戸塚区矢部町 共同住宅  
新築工事

#### 建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 2

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 4 %削減



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①専有部分:断熱等性能等級4

③建物全体BEI=0.96

#### 健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【健康・安心】 3

■室内環境対策 (⑤外皮性能)

◆断熱等性能等級 等級4 (相当) ※全住戸の断熱性能のレベルの加重平均による

■健康・安心対策 (⑥健康対策 ⑦防犯対策)

■その他の対策 (⑧自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 なし

#### 防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防災】 3

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

⑰耐震クラスA

#### 地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 1

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入	環境配慮技術の導入 (太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)
エネルギーマネジメントシステム導入	



CASBEE横浜2017年版v.1.7  
 (仮称)戸塚区矢部町 共同住宅 新築工事

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート	実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	配慮項目	重点項目 <非住宅> <集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>Q 建築物の環境品質</b>							
<b>Q1 室内環境</b>							
<b>1 音環境</b>							
1.1 騒音							
1.2 遮音							
1.3 吸音							
<b>2 温熱環境</b>							
2.1 室温制御							
2.2 湿度制御							
2.3 空調方式							
<b>3 光・視環境</b>							
3.1 屋光利用							
3.2 グレア対策							
3.3 照度							
3.4 照明制御							
<b>4 空気質環境</b>							
4.1 発生源対策							
4.2 換気							
4.3 運用管理							



CASBEE横浜2017年版v.1.7  
 (仮称)戸塚区矢部町 共同住宅 新築工事

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
								<b>Q2 サービス性能</b>		
<b>1 機能性</b>				<b>2.4</b>	0.40	<b>3.8</b>	1.00		<b>3.6</b>	
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>				<b>3.0</b>	0.40	<b>5.0</b>	0.60			
1	広さ・収納性	快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	-	-			
2	高度情報通信設備対応	快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	5.0	1.00			
3	バリアフリー計画	快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	1.00	-	-			
<b>1.2 心理性・快適性</b>				<b>1.0</b>	0.30	<b>2.0</b>	0.40			
1	広さ感・景観	快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	3.0	0.50			
2	リフレッシュスペース	快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	-	-			
3	内装計画	快適・働きやすさ	⑫機能性	1.0	1.00	1.0	0.50			
<b>1.3 維持管理</b>				<b>3.0</b>	0.30	-	-			
1	維持管理に配慮した設計	快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.50	-	-			
2	維持管理用機能の確保	快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.50	-	-			
<b>2 耐用性・信頼性</b>				<b>2.8</b>	0.30	-	-		<b>2.8</b>	
<b>2.1 耐震・免震</b>				<b>3.0</b>	0.50	-	-			
1	耐震性	防災	⑮耐震・免震	3.0	0.80	-	-			
2	免震・制振性能	防災	⑮耐震・免震	3.0	0.20	-	-			
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>				<b>2.5</b>	0.30	-	-			
1	躯体材料の耐用年数	防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-			
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.20	-	-			
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.10	-	-			
4	空調換気ダクトの更新必要間隔	防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-			
5	空調・給排水配管の更新必要間隔	防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-			
6	主要設備機器の更新必要間隔	防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.20	-	-			
<b>2.4 信頼性</b>				<b>3.2</b>	0.20	-	-			
1	空調・換気設備	防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-			
2	給排水・衛生設備	防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-			
3	電気設備	防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-			
4	機械・配管支持方法	防災	⑰信頼性	4.0	0.20	-	-			
5	通信・情報設備	防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-			
<b>3 対応性・更新性</b>				<b>3.0</b>	0.30	<b>2.8</b>	1.00		<b>2.8</b>	
<b>3.1 空間のゆとり</b>				-	-	<b>2.6</b>	0.50			
1	階高のゆとり			-	-	3.0	0.60			
2	空間の形状・自由さ			-	-	2.0	0.40			
<b>3.2 荷重のゆとり</b>				-	-	<b>3.0</b>	0.50			
<b>3.3 設備の更新性</b>				<b>3.0</b>	1.00	-	-			
1	空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-			
2	給排水管の更新性			3.0	0.20	-	-			
3	電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-			
4	通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-			
5	設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-			
6	バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-			



CASBEE横浜2017年版v.1.7  
 (仮称)戸塚区矢部町 共同住宅 新築工事

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>				-	0.30	-	-	-	1.4	
1 生物環境の保全と創出		地域・まちづくり	⑧生物環境の保全と創出	1.0	0.30	-	-	-	1.0	
2 まちなみ・景観への配慮		地域・まちづくり	⑨まちなみ・景観への配慮	1.0	0.40	-	-	-	1.0	
3 地域性・アメニティへの配慮				2.5	0.30	-	-	-	2.5	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		地域・まちづくり	⑩地域性への配慮	2.0	0.50	-	-	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		快適・働きやすさ	⑪敷地内温熱環境の向上	3.0	0.50	-	-	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>				-	-	-	-	-	3.1	
<b>LR1 エネルギー</b>				-	0.40	-	-	-	3.4	
1 建物外皮の熱負荷抑制		省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制	4.0	0.20	-	-	-	4.0	
2 自然エネルギー利用		省エネルギー性能	②自然エネルギー利用	3.0	0.10	-	-	-	3.0	
3 設備システムの高効率化		省エネルギー性能	③設備システムの高効率化	3.4	0.50	-	-	-	3.4	
4 効率的運用				3.0	0.20	-	-	-	3.0	
	集合住宅以外の評価			-	-	-	-	-	-	
	4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用	-	-	-	-	-	-	
	4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用	-	-	-	-	-	-	
	集合住宅の評価			3.0	1.00	-	-	-	-	
	4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-	-	
	4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>				-	0.30	-	-	-	2.9	
1 水資源保護				3.0	0.20	-	-	-	3.0	
1.1 節水				3.0	0.40	-	-	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	-	-	
	1 雨水利用システム導入の有無			3.0	1.00	-	-	-	-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無			-	-	-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				2.8	0.60	-	-	-	2.8	
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.10	-	-	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	-	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				1.0	0.20	-	-	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				2.0	0.10	-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				5.0	0.20	-	-	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.3	0.20	-	-	-	3.3	
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				3.5	0.70	-	-	-	-	
	1 消火剤			-	-	-	-	-	-	
	2 発泡剤(断熱材等)			4.0	0.50	-	-	-	-	
	3 冷媒			3.0	0.50	-	-	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>				-	0.30	-	-	-	2.9	
1 地球温暖化への配慮				3.0	0.33	-	-	-	3.0	
2 地域環境への配慮				2.9	0.33	-	-	-	2.9	
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50	-	-	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.7	0.25	-	-	-	-	
	1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	-	-	
	2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	-	-	
	3 交通負荷抑制			3.0	0.25	-	-	-	-	
	4 廃棄物処理負荷抑制			2.0	0.25	-	-	-	-	
3 周辺環境への配慮				3.0	0.33	-	-	-	3.0	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	-	-	
	1 騒音			3.0	1.00	-	-	-	-	
	2 振動			-	-	-	-	-	-	
	3 悪臭			-	-	-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-	-	-	
	1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	-	-	
	2 砂塵の抑制			1.0	-	-	-	-	-	
	3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	-	-	
3.3 光害の抑制				3.0	0.20	-	-	-	-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70	-	-	-	-	
	2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	-	-	
<b>上記以外の重点項目</b>										
<事務用途>										
知的生産性向上への取組		快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組	-	-	-	-	-	-	
<住宅用途>										
健康と安心										
1 化学汚染物質の対策		健康・安心	⑭健康対策	3.0	-	-	-	-	-	
2 適切な換気計画		健康・安心	⑭健康対策	3.0	-	-	-	-	-	
3 結露・カビ対策		健康・安心	⑭健康対策	3.0	-	-	-	-	-	
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)		健康・安心	⑮防犯対策	1.0	-	-	-	-	-	